

もおかの子育て情報誌

baton

vol.

01

2024 winter
TAKE FREE

読んでみたい
一冊と出会える！
おすすめ絵本
アンケート結果掲載！



baton | Special feature

子どもといっしょに
読みたい絵本





子どもが生まれて、また絵本を読むようになりました。

子どもは不思議なものを見るようにじーっと目で追っていたと思ったら、色に反応して指差してみたり、日本語の音の面白さにニコッと笑ったり、だんだん好き嫌いも出てきたりして。

今回のbatonでは、絵本にまつわるあれこれを集めています。

巻頭特集では、真岡市在住の栃木県立図書館館長、

中村千浩さんにインタビュー! 絵本の魅力についてたっぷり伺いました。



子どもといっしょに 読みたい絵本

おはなし/なかむら ちひろさん



本との出会いは人との出会い

—— 中村さんが考える、絵本の魅力とは？

絵本の内容だけではなく、それを読んでくれた人、買ってくれた人など、絵本にまつわる人との記憶があることだと思っています。たとえば、私の最初の絵本の記憶は、二、三歳の頃にひいおばあちゃんに読んでもらった俳句の本。ページごとに、俳句と少女漫画みたいな女の子の絵が描いてあるんです。その中に、「朝顔やつるべとられてもらひ水」という句があって、

着物の女の子が井戸から水を汲み上げる姿が描かれていました。釣瓶は、水を汲み上げるために使われる道具のことです。朝顔の蔓が釣瓶に巻き付いてしまっていて、水が汲めない。でも朝顔の花をとってしまおうのはかわいそうだから、隣の家まで水をも

らいに行った、という一句です。蔓を取りたくなかったその子の気持ちや、当時のご近所付き合いの様子がいまい浮かんで印象に残っています。何より、それを読んでくれたひいおばあちゃんのこと。具体的に何を話したとは覚えていないのですが、あの絵本を読んできたことが記憶に残っているんですよ。

「九十歳。何がめでたい」が大ベストセラーになった直木賞作家の佐藤愛子さんは、幼少期のことを振り返って、階段の下から「おやすみなさい」と言うとお父さんが「おう」と応えてくれるその時間が、子供時代の一番幸せな時間だったと書いています。そんなふうにならぬ日常の中の些細な時間が、後から自分にとって幸せな記憶だったと気がつくことがあると思うの

本

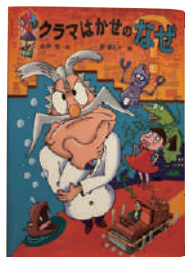
かんちょうの 思い出の本



『あるきだした小さな本』

作:ポルクマン/絵:セリグ/
訳:花輪 莞爾/偕成社

小さな木が父母から離れ、悩みながら独り立ちして立派な木になる物語。絵が綺麗で何度も読みました。自由を勝ち取るための冒険心の大切さを教えてくれます。



『クラマはかせのなぜ』

作:山中 恒/絵:原ゆたか

一つの課題に自分なりに挑戦していき、結論を導き出す姿が描かれています。割れないシャボン玉、故障しないロボットなどヘンテコで面白いお話がたくさん。

—— 動画などさまざまなコンテンツがある中で、絵本ならではの良さはなんでしょうか。

動画は作った側の意図を一方的に受け取るの、ある意味受動的になりがちです。一方で本は、話を進めるために自らページをめくらなければなりません。見ることに、聞くことに主

また、絵本から得る気つきも大切です。以前『鶴女房』という絵本を子どもたちに読んで感想を聞いたら、「女房は奥さんだっということがわかりました」と言った子がいて。「そこ？」とずっと聞いてしまいました。子どもにとつては大発見だったんですね。同じ本を読んでも、大人とは気がつくところが違うし、子ども同士でも引っかけ部分が違うんです。絵本

は子どもの感性を育てる大きな役割を担っていると思います。

—— 子どもの絵本体験を、大人はどうサポートすべきでしょうか。

一番は、本に触れる機会をつくってあげること。親が読んであげることでもそうですし、学校や図書館の読み聞かせの機会を利用するのも良いですね。どれが良いかは子どもが選ぶので、いろいろな場所で本に触れられる仕掛けをつくってあげましょう。大人が本や新聞を読んでいる姿を見せるのも良いと思いますよ。

絵本だけにかかわらず、人生では

です。その記憶が、本当に辛い時の自分の支えになる。寝る前に本を読んでもらうひととき、同じシーンを見て笑いあったこと。絵本を通して触れ合った時間は、お子さんにとってそんな記憶になりうると考えています。

体性があるのが良いところだと思えます。また、見ているページと次のページとの間には、どうしても時間の流れがありますよね。頭の中で描かれている一場面と次の場面をつなげていくので、想像力が養われます。

自分が必要なタイミングで必要な本に出会うことがあります。その時の自分の境遇に寄り添い、自分が抱いている想いを代弁してくれるような本に巡り合った時、それは自分にとって忘れられない一冊になるはずです。

中村 千浩(なかもら ちひろ) /
栃木県立図書館 館長
真岡女子高等学校校長、栃木県
教育委員会教育次長などを経て
現職。真岡市在住。真岡市立図
書館協議会会長も務める。



ためがいようこ
為谷 陽子さん

くろさわ わかこ
黒沢 和歌子さん

真岡市立 図書館 司書

プロが 選ぶ オススメ 絵本

お二人に聞きました!

たくさんのお本がある中で、今のうちの子にはどれが合っているんだろう…。そんなお悩みはありませんか？

もちろん、絵本の好みは十人十色、年齢による明確な区切りもありません。

でも、その年頃の特徴にあった絵本を選ぶと、ハマってくれる確率が上がるかも…？

今回は、真岡市立図書館、二宮図書館の児童書担当の司書のお二人に、

選び方のコツやオススメの絵本を伺いました!



0→2歳
選ぶポイント

乳児のうちは視力が弱く、最初に黒や白を認識し、徐々に赤などはっきりした色がわかるようになります。低月齢の赤ちゃんは目から20～30センチのところでお本を見せると認識しやすいです。日本語の音が楽しい本もオススメ。会話しながら、書かれていない言葉も自由に付け足して読みましょう。めくる・触るが楽しい年頃でもあるので、めくりやすいページの硬さや仕掛けがあるものも好まれます。



まるくておいしいよ

作:小西 英子
福音館書店
いろいろな大きさの丸の後に、美味しそうな食べ物の絵が出てくる絵本。以前読み聞かせに参加してくれた子が食べ物を取る真似をして、さらに「お父さんとお母さんに」とポケットに入れたんです。すごいと鳥肌が立ちました。想像力も育つ一冊です。



やさいさん

作:tupera tupera Gakken
横にめくるだけでなく、縦にめくって遊べる絵本で楽しめます。ビリビリになってしまうかもしれませんが、後から見返すと破いた後や落書きも思い出のアルバムになりますね。でも、図書館の本ではやめてね。



いろがみびりびり

作:まつなが あき 絵:はやしるい くもん出版
自由にビリビリした紙を食べるのを見立てて遊ぶ内容で、実際に紙遊びをしても楽しいです。



真岡市立図書館で読まれている児童書ランキング (2024)

- ① ぼく、アンパンマン! やなせ たかし
- ② おしりたんてい トロル
- ③ だるまさんの かぐい ひろし
- ④ おしりたんてい プブッ おしりたんていがふたりいる!? トロル
- ⑤ バムとケロのそらのたび 島田 ゆか
- ⑥ ぼくはいつたどこにいるんだ ヨシタケ シンスケ
- ⑦ だるまさんと かぐい ひろし
- ⑧ ころべばいいのに ヨシタケ シンスケ
- ⑨ おしりたんてい プブッ ちいさなしょちょうのだいピンチ!? トロル
- ⑩ ノラネコぐんだん おばけのやま 工藤 ノリコ

3→4歳

選ぶポイント

1冊を通して聞き、お話の展開を予想して楽しむことができるようになる年齢です。徐々に他者の気持ちや想像して共感できるようになり、さまざまな感情が芽生えます。参加型の絵本や観察絵本も◎



あぶくたった
 構成・絵: さいとうしゅぶ ひさかたチャイルド
 「あぶくたった、にえたった♪」の童歌がねずみ一家のユーモラスな一冊に。一緒に歌いながらめくっていくような楽しみ方もオススメです。



はじめてのおつかい
 作: 筒井 頼子 絵: 林 明子 福音館書店
 読み聞かせの時、「自分だったらできるかな?」と子どもは集中して見てくれます。「猫を探しています」の看板で探されていた猫が後のページに出てくるなど、背景にも作者の仕掛けがあって楽しい!



アリからみると
 文: 桑原 隆一 写真: 栗林 慧 福音館書店
 アリさんの視点から虫の世界を見ることができる絵本。虫の写真の迫力がすごいです。



ばげばげはっば
 作: 藤本 ともひこ ハッピーオウル社
 落ち葉や木の実をフーツと吹くと、いろんな動物が登場! ルールを覚えて一緒にフーツと繰り返して楽しめます。



まどのむこうのくだものなにあ?
 作: 荒井 真紀 福音館書店
 拡大された果物の一部を見て、なんの果物が想像して答えてもらおうと盛り上がります。枠に縛られず自由な発想ができて楽しい一冊。反対側から読んでも面白いです。野菜バージョンもあり。



小学生

すごいね! みんなの通学路
 文: ローズマリー・マカーニー
 訳: 西田佳子 西村書店
 いろいろな国の小学生の通学路を紹介している写真絵本です。学校に行くことが嫌な日もあるかもしれませんが、広い目で自分を見直すきっかけになったらいいと思います。



ひとつもじ
 作: こんどうりょうへい
 構成: かきのきはら まさひろ 写真: やまもとなおあき 福音館書店
 ひらがなを習う頃にオススメ。小学校での読み聞かせて人気の絵本です。天気の良い日に、ひとつもじを作って遊ぶのも楽しいかも…?



おおきなもののすきなおうさま
 文・絵: 安野 光雅 講談社
 家来たちに命じてさまざまな大きなものを作らせる王様のお話。後書きまで読むと、親の方がなるほどと唖ってしまいます。



5→6歳

選ぶポイント

ものの個数などがわかるようになり、昔話や知識が詰まった絵本も理解できるようになる年齢です。自分で読書し始める入り口として、少し長めの物語を読んでみても良いかもしれません。



王さまと九人のきょうだい
 中国の民話 訳: 君島 久子 絵: 赤羽 末吉 岩波書店
 文字数は多いですが、物語がわかってくるので最後まで聞ける子が多いです。日常会話で使わないような昔話特有の言い回しも、話の流れで理解できるので語彙の増加につながります。



よかったね ネットくん
 作: レミー・シャーリップ 訳: やぎた よしこ 偕成社
 英文付きのアメリカの絵本。ネットくんが悪いことが起きた時は絵がモノクロになるので、子どもは察して展開を楽しみます。小学生も楽しめる一冊。



きょうりゅうのおおきさってどれくらい?
 作: 大島 英太郎 福音館書店
 いまの世界に恐竜がいたらどれくらいのおおきさなの? ジェングルジムやバス、信号機などと比較しながら、いろいろな恐竜と出会う絵本。小山市在住の絵本作家さんなので、実際に小山にある店が描かれているのもポイントです!



今回は年齢別に絵本を紹介しましたが、何歳から読んでも大丈夫。真岡市立図書館は何冊でも借りられるので、いろいろ借りてみてお子さんが興味を持った本、同じ作家さんの本を選んでみると良いかもしれません。一方で、お母さんお父さんが興味を持った本を読むのも◎「好きな本だから一緒に読もう」と誘ってみてくださいね。

真岡で聞きました! 子どもにおすすめしたい絵本



- A:**絵本タイトル
B:作者/出版社
C:オススメ理由は?(名前)
D:何歳くらいのお子さんにオススメですか?

- C:**えがしらさんのやさしいことばとパステルの絵が大好きです。「さんさんさんぼ」「あきぞらさんぼ」「ゆきみちさんぼ」と季節に合わせて読みたい絵本です。(とんちゃん)
D:0~6歳ごろ



- A:**ラッパをならせ
B:作・絵:五味 太郎/佼成出版社
C:夫が息子に読んであげたのですが、ラッパの音色の表現や音を聴いた動物たちの反応が面白くて息子がずっと笑っていました。3人で過ごしたその時間が楽しくて、思い出に残っています。ラッパの音が変わってしまった理由がユニークで、五味太郎さんらしさを感じます。坊やと一緒にいるうさぎたちの表情や仕草もかわいいです。(さくらい)
D:2~4歳ごろ



- A:**これはのみのピコ
B:作:谷川 俊太郎 絵:和田 誠/サンリード
C:我が家の子どもたちが自然と暗記し、子どもたち同士で早口言葉で競い合っ、笑っているのを見て、いいなあ~と思ったからです。(ゆずみそ)
D:3~6歳ごろ、小学生、中学生~大人

真岡で暮らす人、真岡と関わりのある人にアンケート

子どものごころ大好きだった絵本や、自分の子どもに読んであげた絵本。素敵な体験や思い出の詰まった一冊を教えてくださいました!!
読んでみたい絵本をぜひ見つけてみてください。



- A:**いろいろバス
B:作:tupera tupera/大日本図書
C:0歳の娘に読み聞かせするとバスの色が変わるたび目で追いかけてました!カラフルで絵が大きい、文章が繰り返しなので単純でわかりやすいのでお勧めです!!最後の方にはその色のものがたくさんでてきて大きくなって読める絵本です♡(ななぐらむ)
D:0~3歳ごろ



- A:**だるまさんが
B:作:かがくい ひろし/ブロンズ新社
C:長男(小4)が保育園の1歳児クラスの時、初めての発表会で「だるまさんが」をやりました。ヨチヨチ歩きのだるまさんたちが本当に可愛くて、大人たちがメロメロになったのを今でも覚えています。(ぎょうご)
D:0~3歳ごろ



- A:**きんぎょが にげた
B:作:五味 太郎/福音館書店
C:子どもと一緒によく読んで絵本です。子どもが初めてきんぎょを指さした時は感動しました!(ともひろ)
D:0~3歳ごろ



- A:**オリバーくん
B:文:R・クラウス 絵:J・アルエゴ/A・デュウェイ 訳:長谷川 四郎/ほるぷ出版
C:ウチの3人の子どもたちが大好きで、寝る前に、自分から「これ読んで~!」と持ってくるが多かった絵本です。特に、オリバーくんがタップダンスをする場面が大好きで、そのページを「もう一回!もう一回!」とせがまれて、何度も何度も繰り返し読んであげました。子どもたちが顔を見合わせて笑い転げる姿を見ながら、子育ての喜びや母としての幸せを感じたのをよく覚えています。子ども達を叱り過ぎた日も、この絵本のお陰で笑顔で締めくくることができ、何度も救われた思いがした絵本です。(ハーモニータイム 佐藤明子)
D:1~6歳ごろ、小学校低学年(7~8歳)



- A:**はるかぜさんぼ
B:作:えがしら みちこ/講談社

C: 何をするにも臆病な子で、この本に登場する赤い小さなライオンに似たものがあり、持たせた記憶があります。この絵本は思い出深い本となっています。(ラムレーズン)

D: 6歳ごろ



16

A: ちいさなきいろいかさ

B: イラスト: にしまき かやこ シナリオ: もり ひさし/金の星社

C: 図書館の絵本の読み聞かせボランティアの方々が読んでくださいました。子どもと一緒に親もワクワクしたり、優しい気持ちになりました!(えだまめ)

D: 3歳ごろ



17

A: こんとあき

B: 作: 林 明子/福音館書店

C: 子どもが一人で自分の世界を作っていくプロセスを大人が少し離れて見えています。何度も読み聞かせし、子ども一人で何度も見返していました。何より何度読んでも大人が楽しめるモノでした。大人が楽しんでいたのを子どもも感じていたと思います。(平野琢也)

D: 4~6歳ごろ



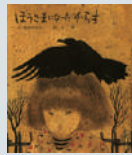
18

A: にげてさがして

B: 著: ヨシタケ シンスケ/赤ちゃんとママ社

C: 学校や仕事、日常の生活の中で、人に傷つけられること、嫌になることがあると思います。それに対して自分にも、そのことにもとても優しく寄り添い、励まし、どう進んでいったらいいか勇気をもらおう本です。あなたはあなたが好きなように、好きなことを、大事に進んでいこうねと応援してもらえる本です!(小川美穂)

D: 小学校高学年から



12

A: ぼうさまになったからす

B: 文: 松谷 みよ子 絵: 司 修/偕成社

C: お弔いに行ったカラスが、ぼうさまに変わる絵が、心に残ります。中学生に読み聞かせをしたら、みんな釘付けでした。単に戦争はダメということだけでなく、いろいろなメッセージが受け取れる作品です。(松本晃子)

D: 全世代



13

A: まえからも うしろからも よめるえほん おべんとう

B: 作・絵: さとう めぐみ/ひかりのくに

C: お弁当に何を入れるかページをめくりながらワクワク!楽しそうに食べるマネをして読んでいてとても喜んでいました。(匿名)

D: 2~3歳ごろ



14

A: ヒッコリーのきのこ

B: 作: 香山 美子 絵: 柿本 幸造/ひさかたチャイルド

C: 子リスがクルミ選びに失敗したり、土に埋めたクルミを忘れても、大丈夫よ~と優しく教えてくれる母リスの温かいまなざしや会話に、子育ての頃、ハッとさせられました。柿本幸造さんの絵もほっこり気持ちが和らぎます。(フカヤヒロコ)

D: 全世代



15

A: ラチとらいおん

B: 文・絵: マレーク・ペロニカ 訳: とくなが やすもと/福音館書店



8

A: オオカミのひみつ

B: 文: きむら ゆういち 絵: 田島 征三/偕成社

C: (匿名)

D: 2歳~小学校低学年



9

A: 14ひきのシリーズ

B: さく: いわむら かずお/童心社

C: こどもとよく読んだ絵本です。絵本の世界を体験したくて、いわむらかずお絵本の丘美術館にも行きました。大きくなったいまでも、あのページが好きだったと話すほど、子どもの心に残っている絵本です。(とんちゃん)

D: 1~6歳ごろ



10

A: あんなに あんなに

B: 著: ヨシタケ シンスケ/ポプラ社

C: 書店でこの本をなんとなく手に取りパラパラ読んだだけで…思わず書店で泣きそうになった絵本でした。自宅でも子どもに読みながらもジーンときます。(cocoro)

D: 4~6歳ごろ、小学生、中学生~大人



11

A: ごきげんななめのでんとうむし

B: 作: エリック・カール 訳: もり ひさし/偕成社

C: 自分の子ども3人に読み聞かせた絵本ですが、孫たちも大好きで何度も何度も読んでいます。あざやかな色彩とだんだんに大きくなる場面とで、次は、次は…と先が楽しみになる絵本。実は、私も大好きです♡(kumipion)

D: 2歳~小学校低学年

- C: 子供が気に入っている絵本で何回も読んでと言われます。(匿名)
D: 小学校3年生くらいまで



26

A: がっこうに まにあわない

- B: 作・絵: ザ・キャビンカンパニー / あかね書房
C: 最近、ボランティアで読み聞かせを始めました。本屋で絵本を探したところ見つけました。読んだ瞬間にビビッと来て、「これは面白い!」と思いました。大きくダイナミックな絵と「学校に間に合わせるんだ!」というシンプルなストーリーは、読み聞かせにピッタリと感じました。早速子どもたちに読み聞かせをすると、絵本の力もあり、教室が大盛り上がりでした。ぜひ読んでいただきたい一冊です。(山田先生)

D: 6歳ごろ、小学生(7~12歳)



27

A: くれよんのくろくん

- B: さく・え: なかや みわ / 童心社
C: 子どもが小さい頃に出版されて出会い、親子共々、凄く気に入って大好きな本でした。私は小学校の読み聞かせのボランティアをしていて、いろいろな絵本の読み聞かせを自分の子どもにも寝る前にしていたのですが、後に絵本とは程遠い男子高校生になった子供が家庭科の授業でオススメの絵本としてあげていたらしいことがわかって、とっても嬉しく、そして「やっぱりね」と思えた絵本です。(パンダ)

D: 小学校低・中学年(7~10歳)



28

A: いわたくんちのおばあちゃん

- B: 著: 天野 夏美 絵: はまの ゆか / 主婦の友社
C: 平和の大切さ、戦争のむごさが伝わる絵本です。絶対戦争はしてはいけないと伝えるために、たくさんの人に読んでほしい。(とんちゃん)
D: 小学生(7~12歳)、中学生~大人

に読んでいます。受け継がれますように…。(潮田伸子)

D: 読んであげるならいつからでも、自分で読むなら10歳ごろ



23

A: せんたくかあちゃん

- B: 作・絵: さとう わきこ / 福音館書店
C: 子どもに初めてこの本を読んでから夢中になり、読んで聞かせた回数を子ども自らが正の字で記録して70回を超えていました。たかましい母親の姿と素直な雷たちがぴったりマッチしてとても楽しい本です。(Junko.F)
D: 小学3年生くらいまで



24

A: 100かいたてのいえ

- B: 作: いわい としお / 偕成社
C: 子どもたちが小さい頃、寝る前に何回も何回も読み聞かせしました。なぜ好きだったかは聞きませんでした。絵も可愛いしお話も楽しいのでオススメ絵本だと感じました。(こばちゃん)
D: 子どものころ本当に大好きな絵本でした。今でも捨てずに手元にあります。全100階分の部屋のイラストが細かく描いてあります。10階ごとに動物たちが住んでいるのですが、その動物の特徴に合わせてような部屋になっていて、その特色を観察するのが楽しかった思い出があります。観察をする中で、自分なら例えばかえるさんの23階が好き!この部屋に住みたい!とか、主人公はこのネックレスを貰ってたけど、自分ならこの横にあるデザインが好き!私ならこっちを貰うな!と色々自分の発見や妄想が広がっていく絵本だと思います!(どいちゃん)

D: 4~10歳ごろ



25

A: もりの100かいたてのいえ

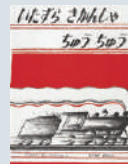
B: 作: いわい としお / 偕成社



19

A: ねずみのかいすいよく

- B: 作: 山下 明生 絵: いわむら かずお / ひさかたチャイルド
C: 30年近く前、このねずみシリーズが好きでたくさん読んでいた中でこれが大好きでよく読んでいた。今でも内容を覚えているくらい。(なおきち)
D: 4~6歳ごろ、小学校低学年(7~8歳)



20

A: いたずらきかんしゃちゅうちゅう

- B: 文・絵: パーヅニア・リー・バートン 訳: むらおか はなこ / 福音館書店
C: ちゅうちゅうが逃げ出して、走るスピード感、疾走感があふれる絵がとてもダイナミック! 何度も何度も読んでもらったのを覚えています(884)
D: 小学校低学年(7~8歳)



21

A: はじめてのおつかい

- B: 作: 筒井 頼子 絵: 林 明子 / 福音館書店
C: 主人公みいちゃんと同じく、弟が生まれてお姉ちゃんになったばかりの頃に読んでもらって思い出に残っています。牛乳くださーい!のセリフがお気に入りでした!(なべちゃん)
D: 4歳ごろ



22

A: だいじょうぶ だいじょうぶ

- B: 文・絵: いたう ひろし / 講談社
C: 大人が読んでも心にスーッと入ります。自身の生き方、そして子どもの心の成長をも考えられる本です。子どもに、そして今、孫ら

冊です。6年生の3学期に読み聞かせに使用しました。中学校への進学に向けて自信のない子や不安なことのある子へのエールとして、また、あたたかく見守る人がいることを感じてほしいと思いました。(オーヨコ)

D: 小学校高学年



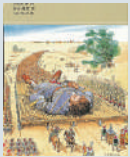
34

A: わにさんどきっ はいしゃさんどきっ

B: 作・絵:五味 太郎 / 偕成社

C: (匿名)

D: 小学生



35

A: ガリバーりょこうき

B: 作: J・スウィフト 訳: 坂井 晴彦 画: C・E・ブ
ロック / 福音館書店

C: 子供のころに読んだ時に、「飛ぶ島」の旅の中で出会う不老不死人間の話が衝撃的で、自分の死生観はそれを契機に形作られたといっても過言ではない。大人にも、あらためて読んでもらいたい。(ちなみに、「ラピュタ」や「ヤフー」もガリバー旅行記に出ています)

D: 小学校高学年から

けさせない。3年間寝て過ごしたが、起きた途端動き出した。その奇妙さ、やはり人間は前を向いて生きるんだということへの訴求と説得力。スマホがあれば、一人でなんでもできると思いがちだが、実は他人と協力すると大成することもあるという感動、認識を持ってもらいたい。(河村和子)

D: 小学5、6年



32

A: ウエズレーの国

B: 作: ポール・フライシュマン 絵: ケビン・ホークス 訳: 千葉 茂樹 / あすなろ書房

C: 誰かと同じでなくてよい。無理して合わせることは、ない。自分の思いのままに自分の世界をつくりあげる。違っていい。自分を信じて自分を大事にして欲しい。それを、この絵本を通して、伝えたいと思った。(七海朱美)

D: 小学校中学年ごろから



33

A: たいせつなきみ

B: 著: マックス・ルケード 絵: セルジオ・マルティネス 訳: ホーバード 豊子 / いのちのことば社フォレストブックス

C: この本は新聞の書籍紹介を見て購入した一



29

A: 野ばら

B: 文: 小川 未明 絵: あべ 弘士 / 金の星社

C: 私自身も大好きな本なのですが、読み聞かせでも小中学年を問わず子どもたちがよく聞いてくれます。今の世界情勢だからこそ子どもたちの心を打つのだと思います。(匿名)

D: 小学3年生～中学生



30

A: ご先祖さまからきみへ

B: さく: のぶみ (斎藤 信実) / 東京ニュース通信社

C: ご先祖さまの想い、そして命の重みを教えてくれる。(松本有紀子)

D: 小学校中学年から



31

A: 三ねんわらう

B: 文: 大川 悦生 絵: 渡辺 三郎 / ポプラ社

C: 自分の置かれた位置に不平不満を言うばかりでは何も解決せず、一生そこから抜



臨床発達心理士
池田良子先生

絵本が育む子どもの力

発達心理学をベースに真岡市内外で数々のお子さんのサポートをしている池田先生。乳幼児の発達における絵本の役割とは？

絵本は聴覚や視覚を刺激し、「楽しい!嬉しい! 悲しい!頑張り!」などさまざまな感情を揺き立てます。絵本の中の世界をイメージし、理解する力も育ててくれますよ。子どもは物語に出てくる人や動物たちの思いを想像し、自分の世界で受け止めるとともに、自分の気持ちと照らし合わせ、他者に言葉や表情、仕草で伝えたり、欲求したりできるようになります。これは、社会生活の中で自己主張する力につながります。加えて、信頼する人に読ん

でもらうことで、絵本の文章が心地よいリズムで自然と子どもの中に入っていき、発声、発語する力が育ちます。これらの力はさらに、集団生活に不可欠な、情緒の安定や自分の感情をコントロールする力、場に適応する力を育てるのです。絵本の読み聞かせをするときの子どもたちの期待感あふれる瞳や笑顔は、私たちの心も温かくしてくれますよね。お膝の上やお布団の中で、絵本を楽しむ時間や機会を作ってあげたいと心から思います。

然について考える大切さ。(夏深)

D: 10歳以上



A: わらって!リッキ

B: 作・絵: ヒド・ファン・ヘネヒテン 訳: のざかえつこ/フレーベル館

C: みんなと同じではなくても、良い!大丈夫だよ!!と、思える絵本だと思いました。(なおみ)

D: 全世代

40



A: おしっこちょびりもれたろう

B: 作・絵: ヨシタケ シンスケ/PHP研究所

41

まりました!(じんぐうじさよこ)

D: 小学生、大人でも



A: だるまちゃん と てんぐちゃん

B: 作・絵: 加古 里子/福音館書店

C: 子どものきもちとおとなのきもちがどちらもわかる(匿名)

D: 全世代

38



A: 葉っぱのフレディ いのちの旅

B: 作: レオ・バスカーリア 絵: 島田 光雄 訳: みらい なな/童話屋

C: 子どもの考える力にアクセスする、命、死、自

39



A: おふろだいすき

B: 作: 松岡 享子 絵: 林 明子/福音館書店

C: 男の子がオモチャのアヒルとともに風呂で大冒険!ペンギン、オットセイ、カバの背中を流しているやがてクジラが現れて大きな潮を吹く!とそこに母の声がして冒険は終わり。湯船の中で少年の思いが羽ばたいて、おふろだいすきになる。(TH)

D: 小学校低学年(7~8歳)

36



A: そっと いちどだけ

B: 作: なりゆき わかこ 絵: いりやま さとし/ポプラ社

C: ラストは感動で涙…。盲導犬への理解が深

37

真岡東小、真岡東中で、朝の読書の時間に読み聞かせを担当しています。はじまりは、子どもが小学生のときママ友に誘われたこと。ママが絵本を読みに来ると子どもが喜んでくれるよと聞いて、それなら…とやってみることにしました。そこから10年以上読み聞かせの活動を続けています。読み聞かせの良さは、快い感情を共有できることだと思っています。以前ある本で、「子どもの心の中には自信の水を溜めるコップがある。それを満たすには、愛情と承認の言葉掛けと、快い感情を共有する共同活動が大切」だと読みました。読み聞かせの時間は、

まさに「快い感情を共有できる共同活動」です。一緒に笑って楽しんで共感する時間により心のコップが自信の水で満たされて、子どもの心の栄養になり、生きるエネルギーになります。読み聞かせをしていると、はじめは関心なさそうに頬杖をついていた子ども、だんだんと目を見開いて身を乗り出して聞いてくれるようになります。私も中学校で読み聞かせを始めた頃は、中学生に聞いてもらうのは難しいかな?とっていました。でも、朝の読書の時間に10分ほど読み聞かせをすると、子どもたちは驚くほど集中して聞いてくれました。ウクライナと



明日の図書館を考える会(あすとしょ) 代表 佐藤 明子さん

読み聞かせの良さは 快い感情を 共有できること



44

A: いっさいはん

B: さく・え: minchi / 岩崎書店

C: 初めての子育てで行き詰まっていたときに子育て支援センターの先生に勧められてびよびよひろばで借りてきたのがはじまり。気に入りが過ぎて自分で購入。1歳半あたりって可愛いけどとても大変。そんなときに「わかる、わかる!」って読んでほしい。みんなそうだよねーって。だいじょうぶ。(chico)

D: 中学生～大人



43

A: パンやのコナコナ

B: 文: とい かや 絵: にきまゆ / ブロンズ新社

C: 子どもがちいさな頃に知ったといかやさん。彼女の絵も、文章も自分の感覚にピッタリとはまってだいじょうぶな絵本です。(ちいさな八百屋 おとなりさん)

D: 全世代

C: 小学3年生になる息子が、幼稚園の頃から読んでいます。幼稚園のころは、「おしっこちょっぴりもれたろう」という名前、キャラクターが面白いらしく、よく読み聞かせていました。小学生になった今でも大好きな本らしく、自分で読んでいます。音読の練習としても喜んで選んでいました。(かをる)

D: 全世代



42

A: かみさまからのおくりもの

B: 作: ひぐち みちこ / こぐま社

C: 小さいころは、子どもの成長をプラスでみる事ができていたのに、少しずつ、周りの子と比べて、マイナスで見るようになった時、この本を読むことで、我が子のもっている個性を大切にしたいと思うことができました。(どんちゃん)

D: 全世代



アンケートにご協力
いただいた皆さまありがとうございます!
まだ見ぬ絵本との素敵な出会いが
ありますように!

ロシアの戦争が始まった頃、ベテランのボランティアさんに勧められ、平和を題材にした『野ばら』という紙芝居を読んだときは、教室が水を打ったように静まり返り、読み終わる頃にはみんなで心一つに、余韻を味わっていました。涙している生徒さんもありました。絵本は出来事を自分事として捉えるきっかけになりますし、教訓めいた言葉も受け入れやすくなるのだと思います。読み聞かせをすると国語力が伸びるとよく聞きますが、私はそれだけではなく、もっと心の深いところで絵本が作用すると考えています。

絵本にはすごい力があります。私自身、子どもを叱り過ぎてしまい落ち込んだ夜も、絵本を読むと子どもと良いコミュニケーションができて、「ごめんね、今日も良い一日だったね」と伝え、穏やかに眠ることができました。子どもが学校に行かなかった時期も、親子で絵本や小説、マンガを読む時間を通して、あるがままの子ども自身を受け入れることができたと感じています。絵本や読書の時間が子どもの中に力を与え、少しずつ心がたくましくなっていきました。子育ての中で、絵本などの読み物が助けられたことが数多くあったのです。



感情を共有できる時間。その良さを知っているからこそ、読み聞かせの活動をライフワークとして続け、これからも良い「おはなし」と子どもたちをつなぐお手伝いをしていきたいです。

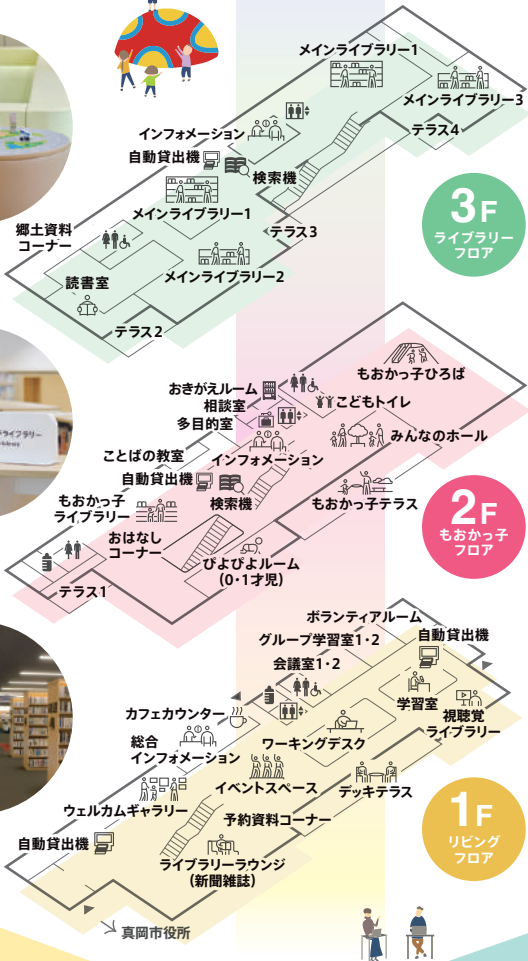
OPEN 1.25 sat 13:00



Floor Map

Rf
みはらし
フロア

五行川テラス



monacaって?

真岡市の図書館、子育て支援センター、地域交流センターの3つの機能をもった複合交流拠点施設です。

1階はゆったりしたテーブル席や学習室に、カフェや飲食スペースもあるリビングフロア。3階は本がずらりと並ぶライブラリーフロア。そして2階が、屋内外型の子ども広場、子育て支援センターや子どもの図書館などが入った「もおっ子フロア」です!

もおっ子ひろば

様々な遊具で遊べる屋内型こども広場。遊びのスペシャリストたちが選ぶグッド・トイ賞を受賞したおもちゃや、木のぬくもりを感じられるおもちゃなどで遊べます!

- 第1クール 9:30-10:30
- 第2クール 11:00-12:00
- 第3クール 13:00-14:00
- 第4クール 14:30-15:30
- 第5クール 16:00-17:00
- 各クール定員100名

- 対象年齢: 2歳~小学6年生まで (保護者同伴)
- 利用料金
市内: 100円 市外: 300円
保護者: 無料 障がい者: 無料
- 予約方法
オンライン、QRコード
※当日受付あり

monaca総括責任者
久保田 有紀さん

お子様が遊ぶ・学ぶ場所であることはもちろんのこと、子育て中の皆様にとっても、楽しさや喜びが感じられる場所になるよう、スタッフとともにお待ちしております。



提供: シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 (monaca指定管理者)

編集後記

春の0号から約半年…仲間も増え、パワーアップしてbaton第1号を発行することができました! 皆さんのおかげで素敵な絵本と出会えたので、冬の間に子どもとたくさん読もうと思います。次号もお楽しみに♡

■baton staff
editor in chief/
栗村 千愛 (真岡市地域おこし協力隊)
illustration / さくらい
design / 古谷 繁男



編集長
あわっち



イラスト担当
さくらい



SNS担当
chico



臨床発達心理士
池田 良子



元編集者
平野 琢也



デザイン担当
ふるや

真岡での子育てを応援していただける
企業・団体さまを大募集!

広告出稿や本誌配布にご協力をお願いします。子育て支援に関連する情報をお持ちであれば、取材の上、本誌やInstagramで発信することも可能です。お気軽にご連絡ください。

Instagramから情報発信しています!

ぜひ
フォロー
お願い
します!



コメント
お待ちしております!